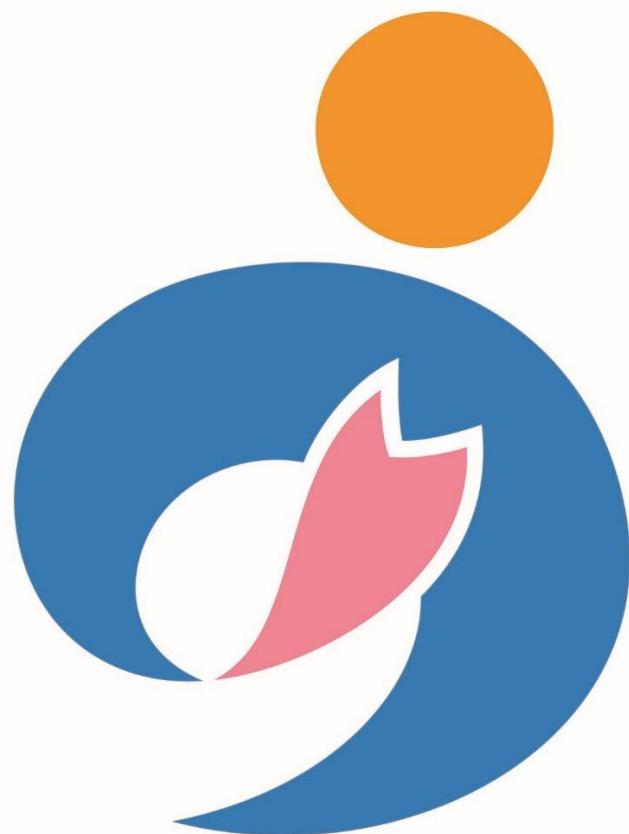


令和7年12月補正 予算事業説明書



人権・社会教育課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計		
事業名	2-2	庁舎等管理費(天萬庁舎)							所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民、利用者、職員						総合計画における位置づけ ⑫生活安全体制の強化			
	意図 (対象をどうするか)		快適に施設を利用できる環境の維持・整備						「4つの挑戦」から見た位置づけ ①暮らしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		施設の維持管理・環境整備等を適切に行うことにより、快適に利用できるようにする。						根拠法令・要綱等 南部町庁舎管理規則			
予算状況			補正前の額	補正額	計							
			10,004 千円	1,875 千円	11,879 千円							

【提案理由】

電気代及び下水道使用料が増加し、予算の不足が見込まれるため、光熱水費の増額、及び使用料の組替えを行う。

【事業内容】

天萬庁舎が住民サービスの拠点としての機能を発揮できるよう維持・管理を行う。

【状況】

夏季における冷房使用の長期化の他、7月選挙における一部貸出スペースの恒常的利用により、電気使用量が増加した。更に下水道使用量も増加傾向となった。

【対応策】

(増額補正)

光熱水費 1,875千円

・支出見込額6,242,186円-予算額4,368,000円=不足額1,874,186円

(組 替)

保守点検委託 △33千円

使用料 33千円

・支出見込額153,669円-予算額121,000円=不足額32,669円

(歳入内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				10 需用費	4,595	1,875
				11 役務費	1,031	0
				12 委託料	4,221	△ 33
				13 使用料及び賃借料	157	33
				17 備品購入費	0	0
	一般財源	10,004	1,875			
	計	10,004	1,875	計	10,004	1,875

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 施設利用において快適な環境の提供を確保する。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計		
事業名	2	板祐生記念館活動事業							所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民及び町外來館者						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		板祐生の孔版画や蒐集品を展示し、祐生作品の芸術性の高さを伝えていくとともに、明治から昭和の貴重な収集品による文化の継承を行う						⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		入館者数の目標を4,000人とし、特別展・企画展の内容について工夫を凝らし、様々な方法を用いて周知していく。						根拠法令・要綱等 社会教育法 南部町祐生出会いの館条例			
予算状況			補正前の額	補正額	計							
			5,465 千円	343 千円	5,808 千円							

【提案理由】

電気料金の不足が見込まれるため、光熱水費を増額を行う。

【事業内容】

板祐生記念館の文化施設としての機能を満たすよう維持・管理を行う。

【状況】

燃料価格等の高騰により、光熱水費の不足が生じる。

【対応策】

(増額補正)

光熱水費 343千円

・支出見込額1,554,326円-予算額1,212,000円=不足額342,370円

(歳入内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
13-1-5-2	板祐生記念館使用料	600	0	10 需用費	3,194	343
18-2-4-1	さくら基金繰入金	1,419	0	11 役務費	670	0
20-5-5-1	板祐生記念館グッズ代	15	0	12 委託料	1,323	0
20-5-5-1	板祐生記念館収入金	200	0	13 使用料及び賃借料	276	0
				18 負担金補助及び交付金	2	0
	一般財源	3,231	343			
	計	5,465	343	計	5,465	343

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
		予算計上により、適正な支払いを行うことができる。